

2018年3月20日

21世紀の女の子製作委員会

山戸結希（映画『溺れるナイフ』『おとぎ話みたい』）企画・プロデュース
映画『21世紀の女の子』に、12名の新進監督らが参加。
監督の一名をあたらしく公募、キャストオーディションも開催。
「来たれ！21世紀の女の子」



山戸結希が企画・プロデューサーを務める、映画『21世紀の女の子』の製作を
発表いたします。

本作品には、山戸結希のほか、80年代後半～90年代生まれの映画監督12名が
参加します。全編に共通した“あるひとつのテーマ”を、すべての監督が8分以内

の短編で表現し、1本のオムニバス作品となることを予定しています。

<参加監督> (五十音順)

井樫彩、枝優花、加藤綾佳、坂本悠花里、首藤凜、竹内里紗、夏都愛未、東佳苗、
ふくだももこ、松本花奈、安川有果、山中瑤子

以上に加えて、山戸結希、もう1名は公募による選出をいたします。

また、キャストオーディション開催につき、出演者の応募も受け付けています。

それらの詳しい応募要項は、公式HPをご参照ください。

21世紀の女の子公式HP <http://21st-century-girl.com>

(こちらのHPは、19時公開予定です)

山戸結希 (企画・プロデューサー) コメント

プロデュースを務めさせていただきます、映画『21世紀の女の子』が、才能溢れる、未来を望まれる監督のみなさんと一緒にいただきながら、動き始めました。現在、一篇一篇の製作が始まりつつあります。

この作品を観終わったとき、新しい議論と、待ち詫びた希望が生まれるような、未来の女の子たちのためのオムニバス短篇集としたいと考えています。

夢物語のような話かもしれません、

スクリーンでかかる映画の半分が、女の子の手によって紡ぎ出された光景になること—

そんな未来のための一步を、今、踏み出したいと、考えています。

映画を観ることで、初めて生まれ変わることでできる女の子のために、

映画を撮らなくては、生きてゆけない女の子たちと、

21世紀を切り拓いてゆきたいです。

そして、まだ見ぬあなたこそ、21世紀の女の子なのかもしれません。

ぜひ、締め切り間近のキャストオーディションへのご応募、

そして、監督公募に、ご参加ください。経験は不問です。

21世紀は、必ず女の子の映画の世紀となります。

来たれ！21世紀の女の子

<基本情報>

企画・プロデューサー：山戸結希

エグゼクティブプロデューサー：小野光輔、三谷一夫

公開：2018年冬～2019年春 全国劇場公開予定

本件に関する問い合わせ先：21世紀の女の子製作委員会事務局

メール：21info@abc-rights.co.jp